



2009年度活動報告書

Annual Report 2009

オン・ザ・ロード
On The Road

forward

2007年5月、高橋歩とともに旅したバラナシで、インド人との出会いから始まった学校建設。延べ80余名の日本人がレンガを積んでコンクリートをこね、スクール&ロッジを建設してから2年半ほどが経過しました。2009年にはジャマイカで「フリーミュージックスクール」を設立。行きつ戻りつの険しい道ではありますが、一歩足を踏み出せているのは、私たちの活動に力を寄せてくれるみなさんのおかげであると感謝しています。

「世界の子どもに学ぶ場を、

日本人に世界の遊び場を」

世界のどこかの国の学校に通えない子どもたちが、学ぶ機会を得られること。これと同時に、豊かになりすぎて自分たちの幸せを実感できなくなってしまっている私たち日本人が、世界のリアルな現実にも身を置くことで、忘れかけている何かを体験することが、私たちオンザロードの目指すテーマです。

物や金を持つほど、それを失う不安も増える。小さな部屋で身を寄せ合うように暮らす、第三世界の貧しい人々にあふれる底抜けな明るさや、雑草のようなたくましさを目にするとき、僕はこれを実感するのです。

残念ながら現在ジャマイカのゲストハウスは一時閉鎖していますが、インド・バラナシにはたくさんの人達が訪れてくれるようになりました。いつの日か、ぜひ旅してみてください。あなたがサポートしてくれた子どもたちのちぎれる笑顔が、あなたを待っていますから。

オン・ザ・ロード 理事長 池田伸

table of contents

school & lodge project	2
india	3
jamaica	5
japan	7
friends	9
summary	10

school&lodge project

オン・ザ・ロードは、スクール&ロッヂ・プロジェクトを通して、新しい「旅」「支援」「国際協力」のあり方を実践していきたいと考えています。

世界各国で、無料で通える学校作り

世界各国で、経済的・社会的な理由により学校に通えない子どもたちのために、無料で通える学校を作り、各国の現実に応じた学ぶ機会を子どもたちに提供します。

旅人が集まるゲストハウスを併設

学校内もしくはその近辺に、旅人が宿泊できる「ゲストハウス」を併設し、収益を学校の運営資金にまわすことにより、継続的に授業料のいらない学校として、独立運営することができます。

日本人を含めた世界の旅人たちがゲストハウスに宿泊し、学校で先生となり、子どもたちにそれぞれ得意なことを教える。そんな国際交流の場にもなればと考えています。

参加型で体験と感動を提供します

当プロジェクトは、お金を寄付するだけのボランティアではありません。

オン・ザ・ロードが中心となり、日本中から集まる日本人ボランティアと共に現地に渡り、積極的に学校及びゲストハウスの建築作業に加わり、現地の人たちと共に学校を作り上げます。実作業を通じて、日本の若者たちに普通では味わえない体験と感動を提供します。

india



スクール&ロッヂ・プロジェクト

インド・バラナシで展開されているスクール&ロッヂ・プロジェクトは、オン・ザ・ロードのはじまりとなったプロジェクトです。

旅人による旅人のための旅マガジン『旅学』編集長の池田伸が、2007年、作家・自由人 高橋歩とともに出かけたインド・バラナシにおいて、「貧しい子どもたちのための学校を作りたい」という一人のムスリム系インド人男性と出会いました。

2人は、旅先でたまたま出会ったこの男の夢に賛同し、帰国後一口10万円の出資を募り、雑誌を通じて公募した日本人ボランティア延べ80人とともに、現地で1ヶ月間建設作業を行なって、学校づくりが実現しました。

プロジェクト概要

名称：Mother Baby School & Lodge

開校：2008年6月10日

ロッジ運営開始：2009年5月14日

スタッフ：インド人スタッフ 3名 日本人スタッフ 1名

マザーベイベースクールの授業

児童数：40名

授業:月曜日~土曜日(8:00~12:00 (冬期~15:00))

基礎科目：ヒンディー語、英語、算数、図工

特別授業：基礎科目に加え、宿泊者の中からボランティアの方に先生をしてもらう授業。子どもたちは、世界の様々な文化に触れる貴重な機会であり、ボランティアの人にとっては、各自の特技を用いて国際貢献し、子どもたちとの交流の場となっています。

初めての遠足

4月には、マザーベイベースクール開校以来、初めての遠足が実現しました。四大仏跡のひとつであり、学校のあるバラナシの町から北東10km先に位置するサーラートを訪問。6名の日本人ボランティアを含むスタッフが引率し、充実した一日となりました。

日本テレビNEWS ZEROにて特集されました

今年2月にEXILEのUSAさんがインドの学校を訪問、子どもたちにダンスを教えてくださいました。この時 NEWS ZERO 取材班が同行。5月20日に「EXILEの社会貢献」として特集が放送され、その中でマザーベイベースクールも大きく取り上げられました。



jamaica



スクール&ロッヂ・プロジェクト

ジャマイカでは、レゲエシンガーのシスターカヤさんの発案によりプロジェクトがスタートしました。

2009年3月、学校となるマーカスガーベイセンターをボランティア19人が改修し、ゲストハウスもオープンしました。11月には、生徒25人が集まり、放課後のキーボードクラスも開校にいたりしました。

プロジェクト概要

名称：Japan Music Cultural Center

開校：2009年11月

ロッジ運営開始：2009年3月

スタッフ：ジャマイカ人スタッフ6人

センターの授業

児童数：12名

授業：月曜日・木曜日(16:00~18:00)

基礎科目：キーボードクラス



コンピレーションチャリティーCDの発売

ジャマイカのスクール&ロッジプロジェクトに賛同してくれたミュージシャン12人と、音楽レーベル(有)ヴィレッジアゲインアソシエーションの協力により、チャリティーコンピレーションアルバムが2009年11月18日に発売。CDの著作権はアーティストよりオン・ザ・ロードに寄付され、ジャマイカのプロジェクト運営費として大切に使用させていただきました。CDもコンスタントに売れている人気CDとなりました。



ジャマイカにおけるロッジ運営

2009年12月より、ロッジの運営を閉鎖しています。ジャマイカ情勢の不安定化などもあり、ロッジ経営は苦しくなったことから、一時的閉鎖はやむ得ないという判断に至りました。センターにおける音楽学校は、先生たちがボランティアで行い、継続しています。早期にロッジ運営を再開し、継続的なセンター運営を確保したい考えです。



japan



日本国内における活動

インドならびにジャマイカにおけるプロジェクトの安定した継続、新規プロジェクトの開拓、そしてなにより子どもたちの現状をより多くの人に知ってもらいたいとの思いから、日本においてさまざまな活動を展開しています。

国際ボランティアの普及に関する活動

雑誌等での執筆作業

旅雑誌「旅学」を執筆・編集する中で、旅の素晴らしさを紹介することにより、旅や国際ボランティアへの啓発事業を行っています。また、オン・ザ・ロードの活動に関わる内容を執筆・編集作業を行うことで、国際協力のさらなる普及に努めています。

インドならびにジャマイカにおけるスクール&ロッヂプロジェクトの設立については、雑誌「旅学」の中で大きく紹介されました。また、インドにおけるスクール&ロッヂ建設の一部始終を記録したドキュメントのDVD「旅学2」も制作されました。

各種イベントへの参加

オン・ザ・ロードの活動に関して、より多くの人に興味をもってもらえるよう各種イベントでのブース出展、パネル展示、募金箱の設置を行いました。

- 野外フェス「旅祭」での出展
- チャリティーCDのイベント主催やパネル展示
- 横浜チャリティーフェスへの参加

特定非営利活動法人

チャリティ・プラットフォームの インキュベーション・プログラムに 選ばれました

インキュベーションプログラムとは、特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォームがNPO立ち上げを目指す社会企業家を支援し、新たな社会変革の種を育てることを目的とした助成プログラムです。2009年のインキュベーションプログラムは、多数の応募の中からオン・ザ・ロードのスクール&ロッヂ・プロジェクトが採用されました。



CHARITY PLATFORM

friends

支援者への感謝

オン・ザ・ロードの活動は、ボランティア、オーナー、サポーターを始めとした多くの方の暖かい支援によって実現しています。同時に、オン・ザ・ロードの安定した継続的運営には、今後の資金基盤の強化が必須課題です。サポーター制度の改善、募金箱の設置や企業協賛など、新たな工夫や努力に努めたいと考えています。

また、オン・ザ・ロードへの関わりがボランティアならびにサポーターの方々にとってさらに有意義なものとなり、多くの方がオーナーシップを持って関われる場としてオン・ザ・ロードを展開したいと考えています。

支援の仕組み

オン・ザ・ロード・サポーター(正会員)

年会費10000円のサポーター制度です。オン・ザ・ロード・サポーターの方には、年1回の活動報告書ならびに季刊誌「旅学」を年4冊お届けしています。

オン・ザ・ロード・サポーター会員数：31名

チャイルド・サポーター

年会費3000円のサポーター制度です。チャイルド・サポーターの方には、現地子どもたちから直筆のお便りを1通お届けしています。

チャイルド・サポーター会員数：7名

※2010年9月よりサポーター制度が変更いたします。詳細については別紙でご覧下さい。

共同オーナー

各スクール&ロッヂ・プロジェクトは、1口10万円の共同オーナーを募集して発足します。

インド共同オーナー(31名)(順不同)

池田伸(旅学編集長)、高橋歩、株式会社A-Works、山中裕二(BOHEME、TOP'S HAIR)、USA(EXILE)、西川たけし(ロックミュージカルプロジェクト)、国沢拓(ヘアメイクSAKURA)、石岡秀一(有限会社ロックヒル)、片岡将紀(ENTERTAINMENT FREE SPASE NO NAME)、辰野まどか(NOMAD global代表)、須貝信一・田中圭介(居酒屋ENCOUNTER!!&居酒屋炎Kai!!)、サンクチュアリ出版、向後高士(アロンフィールド)、株式会社PLAY EARTH、One Peace Books Inc.、株式会社アイランドプロジェクト(ビーチロックビレッジ)、齊藤真紀(元ビーチロックビレッジスタッフ)、河辺健太郎(play the earth)、FUNKIST、ROCKWELL'S(中野光弘)、手塚幸広(口コディッシュ)、横手山ヒュッテ、BAR swallowtail、いもっちゃん、BEACH HOUSE PROJECT、大嶋啓介(てっぺん)、石原尚(ブランニューメイド株式会社)、古山茂樹(cycle;ya/ Tipi camp 伊豆・河津町)、C.A.P DESIGN Inc.(門内一生&高橋洋一)、門田充慶、滝本洋平(株式会社A-Works)、香月孝史(医療法人社団秋月会 香月産婦人科理事長)、稲垣健(株式会社EDI)、阿保友和カフェ&バー a sunny place TIDA上大岡

ジャマイカ共同オーナー(9名)(順不同)

池田伸(旅学編集長)、高橋歩、河野将之、Malulani☆LAMB、阿保友和カフェ&バー a sunny place TIDA上大岡、桜井美帆、株式会社サンダースエンタープライズ、アラン・マーゼリソン、さぬきバオカーズミーティング実行委員会

summary

the school & lodge project

The “School & Lodge Project” intends to set a new style in the realm of aid, international cooperation and travel. The model is simple. We build schools around the world where communities need them. We build a lodge, or guest house near the vicinity. The school is run by the profits gained through the guest house. Travelers can simply contribute to a much needed cause by choosing to stay at the lodge. We believe the project enables the following.

- provide a financially sustainable model for aid efforts
- create venues for international exchange and cooperation
- pioneer further ground for a model of ethical travel

India, Varanasi

The School & Lodge Project (Mother Baby School) in India is On The Road’s first project. Initiated by Shin Ikeda and Ayumu Takahashi (Currently President and Vice-President of the Board of Directors), the project found 31 Co-Owners to provide initial funds for the construction of the building for the school and lodge. After a month of collaborative effort by local workers and 80 Japanese volunteers who flew to Varanasi on their own expense, the school celebrated its opening on June 10, 2008. On May 14, 2009 the lodge opened for business.

Currently, 40 children from the community attend school, six days a week. In addition to core classes (Hindi, English, Math, Art), “special classes” allow interested traveler volunteers to teach children in areas of their choice. This provides children with a valuable window to various cultures and opportunities in the world.

Jamaica, Kingston

The School & Lodge Project (The Japan Music & Cultural Center for Jamaican Children) in Jamaica is the second project currently underway for On The Road. The project began when Japanese reggae musician, Sister Kaya approached Shin Ikeda and Ayumu Takahashi with an idea to create a music & cultural center for children in Jamaica under the model in India. The project found 5 Co-Owners and funding by Charity Platform, and Steven Golding, as a local partner who was willing to provide the building. In April 2009, along with 12 Japanese volunteers, the team renovated the Marcus Garvey building in Downtown Kingston and found a home in Uptown Kingston which would operate as a bed and breakfast to support the project.

The Center opened its doors in November 2009, and a total of 25 children attend the center for keyboard lessons that are held twice a week by local volunteers. The bed & breakfast which opened for business in March 2009 is temporarily closed since December due to financial difficulties. The re-strategizing and re-opening of the bed & breakfast is a top priority.

exposure

On The Road has been actively promoting its projects through exposure in the media. Both projects in India and Jamaica have been extensively documented in the quarterly travelers magazine, “TABIGAKU”. A short documentary clip on the Mother Baby School was aired on Japan Television’s news program, “NEWS ZERO”. The endorsement by USA (member of EXILE, a top music dance group in Japan) has been a strong factor in gaining publicity and support.

friends

Our projects have materialized with efforts of volunteers, funding supporters, Co-Owners, various “friends” who have provided valuable support in various ways. We hope to expand our base of supporters, provide an experience that entails ownership, and continue our share of effort for a more just and sustainable world.

オンザロード

東京都世田谷区北沢2-33-5 TKS下北沢ビル3階

TEL 03-6407-9370

<http://www.ontheroad.me>